

衆議院内閣委員会ニュース

平成 30. 5. 18 第 196 回国会第 18 号

5 月 18 日（金）、第 18 回の委員会が開かれました。

1 環太平洋パートナーシップ協定の締結に伴う関係法律の整備に関する法律の一部を改正する法律案(内閣提出第 62 号)

・茂木国務大臣、中根外務副大臣、磯崎農林水産副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

篠原豪君（立憲）

- ・安倍政権は平成 30 年までに F T A カバー率を 7 割まで引き上げることを目標としているが、T P P 11 や日 E U ・ E P A も含めた目標の達成状況はどうか、また、それは日本企業にとって不利にならない程度の数字なのか、政府に伺いたい。
- ・米国が離脱した T P P 11 では、世界の貿易・投資のルールを作るという我が国の目論見は破綻していると考えるが、茂木国務大臣の見解を伺いたい。
- ・「自由で公正かつ相互的な貿易取引のための協議」(F F R) を開催する時期及び付託事項 (T O R) の素案の作業プロセスについて茂木国務大臣に伺いたい。

森田俊和君（国民）

- ・米国の T P P 再交渉により、農産品輸入枠の再設定等が行われるのではないかと懸念の声に対し、どのように対応するか茂木国務大臣に伺いたい。
- ・米麦等の品種開発及び種子の流通に対する T P P の影響について政府の認識を伺いたい。
- ・食料の安全保障の観点から、国内畜産農家を保護及び育成する意義について磯崎農林水産副大臣に伺いたい。

中川正春君（無会）

- ・自由貿易はどのような形で日本に恩恵をもたらしているのか、茂木国務大臣の認識を伺いたい。
- ・国内農業の展望を明示して、良い政策を作り、納得できるものとして T P P を国民に示していくべきと考えるが、茂木国務大臣の見解を伺いたい。
- ・過去 3 年間の補正予算における T P P 等関連対策の具体

的効果を示すとともに、日本で生産することにメリットがある環境を作るべきとの考えについて磯崎農林水産副大臣の見解を伺いたい。

稲富修二君（国民）

- ・4 月 17 日の衆議院本会議において米国の鉄鋼及びアルミニウム製品の輸入制限措置に関する質疑に対し、河野外務大臣からなされた答弁は、米国をかばうものであったように思うが、当該問題の基本認識について中根外務副大臣に伺いたい。
- ・米国との関係について、政府は「自由で公正なルール作りが必要である」等の発言をしているが、日本と米国が使用する「公正」の意味合いは異なるのではないかと、茂木国務大臣の見解を伺いたい。
- ・3 月に米韓 F T A の見直し交渉が大筋合意となったが、政府は当該交渉をどのように評価し、また、これを日米交渉の中でどのように生かしていくのか、茂木国務大臣に伺いたい。

宮本徹君（共産）

- ・安倍内閣総理大臣をはじめ政府が使用している「ディール」が指すものについて、日本側はどのように考えているのか、茂木国務大臣に伺いたい。
- ・トランプ米国大統領が発した大統領覚書の中で、「将来の貿易取引交渉は 1 対 1 で個々の国と取引を行う用意がある」旨記載されているが、F F R はここでいう 1 対 1 の取引の場に該当するのか、茂木国務大臣に伺いたい。
- ・3 月に U S T R 代表が、米下院議会において、「適切な時期に F T A を締結することに関心があると日本に伝えた」と証言したことは事実であるか、茂木国務大臣に伺いたい。